

お体の負担を減らすよう 配慮した行程の南米

南米は「遠い」、「自分の体力では心配」というお声が寄せられます。確かに短い日数で、広大な南米大陸をめぐるうとすると、毎日が移動の連続となり、お体へ負担がかかります。当ツアーでは、無理なく楽しんでいただけるように以下の点に配慮しました。



配慮その①

十分な休息

強行軍を避け、
航空機の乗り継ぎ地で休息を



2025年6月に新空港が完成。南米の玄関口リマへ(A・Eコース)

南米へのフライトは、丸一日近くを要する長旅です。当社ではあえて、往復ともに乗り継ぎ地での休憩時間を設けています。長時間移動の疲れを引きずらず、体調を整えておくことは、南米の旅を存分に楽しむための大切な準備です。お体を休めながら、南米大陸へ。

- Aコースでは、往復ともにアムステルダムで宿泊
- B～Dコースでは、トロントで往路宿泊、復路デュース
- Eコースでは、中米メキシコシティで往路宿泊、復路デュース

配慮その②

嬉しい連泊

連泊中心の行程でめぐり、無理な
スケジュールにならないように配慮



イグアスでは国立公園に2連泊しゆったり観光(Aコース)

当ツアーでは、連日次の宿泊地へと移動が続くような旅程を避け、連泊中心の日程でめぐります。また、都市間移動のフライトは極力早朝や夜便を利用しないことで、ハードなスケジュールとならないよう配慮しています。最後までお疲れなく楽しんでいただけるよう時には、早めにホテルに戻る日や、半日ほどの休憩時間を設けるなどの工夫をし、お体への負担を軽減できるようにしています。



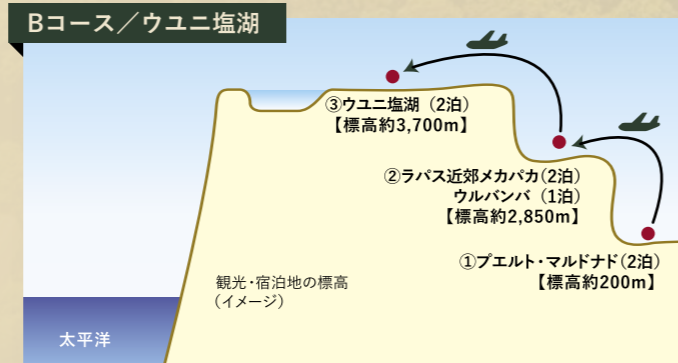
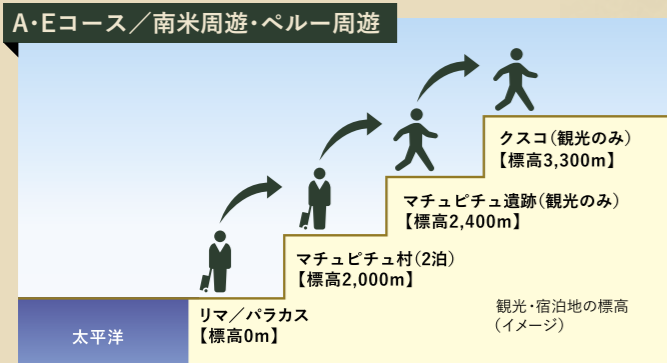
滞在が思い出となる「塩のホテル」に2連泊(Bコース)

配慮その③

高地対策

標高に
配慮した行程

南米の旅では、標高への順応が旅を楽しむコツといっても過言ではありません。標高が低いところから、一気に高地へ上がると、お体への負担が大きくなります。当ツアーでは、徐々に標高を上げることで、体を高地に慣らしながらご案内します(ブラジル、アルゼンチン、チリでは特に高所な都市はありません)。



※徒歩観光を減らし、よりお体に楽にめぐれる旅をご希望の方は、Eコース「ゆったり度2で行くペルー」をおすすめします。



マチュピチュ/ペルー

世界最長の山脈
アンデス山脈



ウユニ塩湖/ボリビア

★イースター島(Cコース)



北パタゴニア/アルゼンチン



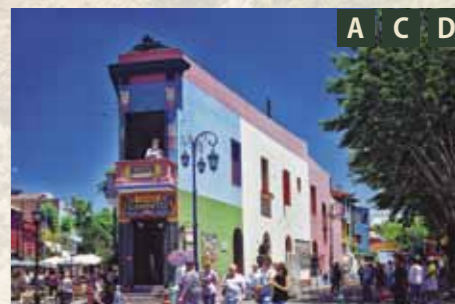
南パタゴニア(ロス・グラシアレス国立公園)/アルゼンチン



リオ・デ・ジャネイロ/ブラジル



イグアスの滝/ブラジルとアルゼンチン



ブエノスアイレス/アルゼンチン